

冷学生生活の

いとすぎ祭

手をつなごう

いとすぎ祭実行委員長 3年 五味 紀子

私たちは第9回のいとすぎ祭を開催するにあたり、昨年の9月から委員会を発足し準備をしてきました。東日本大震災から一年が過ぎ、あまり報道がされなくなった今、私たちに何が出来るのか考えた際に、それはきっと「忘れないこと」「手と手をつなぎあうこと」だと考えました。そこからテーマを『hand in hand ~あれから一年~』と決め、第9回いとすぎ祭をみんなにとって繋ぎ合う架け橋となることを願い、頑張って準備をしてきました。

今年はより一層いとすぎ祭を盛り上げられるよう、体育祭委員と学祭委員の統合を行い、たくさんの方々の参加を促すためにSPEEDの今井絵理子さんのトーク・ライブと震災において大きな活躍をされた石巻赤十字病院金愛子看護部長の講演を企画しました。途中、意見の食い違いや情報の伝達不足から順調に進まないこともありました。しかし、実行委員のみんなのいとすぎ祭を成功させたいという気持ちがいくつもの困難を乗り越えさせ、当日は暑いくらいの晴天の中、多くの来場者の方にご参加いただき、多くの笑顔を見ることができました。委員長として苦労することもありましたが、その中で垣間見られる皆の笑顔があったからこそ最後まで頑張る事ができたのだと思います。本当にありがとうございました。



2012前夜祭を終えて

前夜祭実行委員長 3年 朴木 詩織

今年の体育祭は、委員が学祭委員と合併したことにより、新たに「前夜祭」として活動しました。 昨年同様、チームは1~3年生で構成し、普段の生活であまり関わることのない先輩、後輩が競い合い、大変好評でした。また教職員の方々、特に今年は学長先生もご参加くださり、とても盛り上がりました。

今年の種目は「バレーボール」、「ドッジボール」、「しっぽ取り」、新企画の「ぐるぐるバッド」の4競技を行いました。前夜祭委員としては、競技を変更することで盛り上がりに欠けるかなど不安が沢山ありましたが、予想以上に参加者のみんなが盛り上がっている姿をみて、委員としてとても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

また今年は例年以上に活動時期を早めたことで、スムーズに準備・進行することができました。これは、お忙しい中、教職員の方々や購買・食堂の方々、学祭実行委員の協力があったことや、ご参加くださった皆様、そして何より前夜祭実行委員のメンバーのおかげだと思います。最高の前夜祭をありがとうございました。また、来年も今年以上に盛大な前夜祭が開催されますことを期待したいと思います。



新入生合宿研修

あの時はじまったもの

1年 竹林 麻弥

私達1年生は4月17日~18日に新入生合宿研修に参加 しました。

合宿の内容は、明治村見学やグループワーク、講演を聴いたりと様々で、それらを通して赤十字に対する 理解を深めるきっかけや、仲間との交友を深めるきっかけ、そして自分を見つめ直し思いを明瞭化するきっかけなど、様々なきっかけを得ることが出来ました。

その中でも一番印象に残っているのが、ホスピタル・クラウンである大棟耕介さんの講演会での「患者さんの気持ちを気遣える優しい看護師になりたいと思っていても、知識や技術が不足していれば余裕がなく



大棟耕介さんと一緒に



明治村見学

なる。自分に余裕がない人は相手を気遣えない。」という言葉です。看護師としての優しさや気遣いは、確かな知識と技術があって初めて存在するものであるということです。私はその言葉を今でも忘れられません。なぜなら、あの時私はこれからの4年間で培わなければいけないものの重さを、未熟ながらもひしひしと胸に感じたからです。大棟さんの言葉は、大学生活に対する意識を変えるきっかけとなりました。

その後のグループワークでは「大学生活で大切にしていきたいこと」について話し合いました。その中で、一人ひとりがそれまではどこか曖昧であった思いや決意を明確にすることが出来たと思います。

沢山のきっかけを合宿研修で得ました。これからの 私達に必要なのは、大学生活を送る上で今回得たきっ かけを生かし、決意を胸に自ら行動し、前へと進んで いくことです。前へ前へ、私たちの看護学生としての 道のりはあの時確かに始まったのです。

ふれあいゼミナール

たくさん考えたふれあいゼミナール

1年 水野亜侑美

今年から始まったふれあいゼミナール。学生同士で 看護、勉強について考えてまとめたり、臨床で働いて いる先輩方のお話を聞いたり、また看護師さんの患者 体験のお話を聞く機会がありました。

臨床で働いている先輩方のお話では、大学で学んだこと、国家試験の学習範囲を超える現場の厳しさ、また現場に出てからも勉強が続くからこそ学生時代の学びの大切さを改めて感じました。

患者体験をした看護師さんのお話は、私にとって印





象深いものでした。今回入院している方の本音、心の内を聞けたことで、自分の中でとても大切な引き出し を作ることができたと感じています。

これらの講演の度、自分たちが感じたことを出し合い、学生時代4年間の中で何ができるか、今はどうすべきか話をしたり、意見交換することで、自分たちの

考えをまとめることが できました。

ふれあいゼミナール を通して考えたこと、 感じたことを忘れず大 切にしていきたいと思 っています。



冷学生生活が

愛知県•豊田市総合防災訓練

模擬傷病者役を経験して

1年 森脇 豪

私は、愛知県・豊田市総合防災訓練に左眼球離脱と 顔面圧痛のある傷病者役で参加しました。当日の特殊 メイクは、本当に目が飛び出ているリアルなものでし た。他にも骨が飛び出た人、腸が出た人、首に切り傷 のできた人など、様々な設定の方が60名近くいました。 実際に訓練に入ると、目がほとんど見えない設定だっ たので今どこにいて、何をされているか、自分の状態 がすごく気になりました。訓練だとわかっていている にも関わらず、説明もないままの処置に置いてきぼり の自分を感じ、実際の災害現場だったらどんなに苦痛 で不安だろうなと思いました。特に、担架からベッド への移乗の際、5~6人の手が体の下に入り、自分はこ れから何をされるのか本当に不安になりました。今回 の訓練に参加し、救護側の視点だけでなく、救護され る側の立場に立つことの重要性を改めて実感しました。 この体験を今後の災害救護などの勉強に役立てていき たいと思います。

防災訓練に参加して

3年 小幡 実樹

先日行われた防災訓練で、私はパニック状態にある 人の役を体験しました。災害という非常事態では、パニックというのは誰もがなりうる状態のため、自分も 実際になるかもしれないと思いながら行いました。訓練中では、救護所の看護師と保健師が私の背中をずっとさすってくれて、しばらくすると落ち着くことができ、看護師から「パニックに陥った人にどのように対応すれば良いか考えることができ、良い経験になった」と言ってもらえました。いつ自分が当事者になる



かわからない状況の中、このように訓練しておくこと はとても重要だと思います。今回の訓練では救護側・ 患者側の両方の視点に触れることが出来て良い経験に なりました。

防災訓練に模擬患者役で参加して

4年 岩﨑佳奈子

今回、傷病者役として参加させていただいた愛知県 豊田市総合防災訓練は、近い将来発生が予測されてい る東海・東南海・南海の三連動地震を想定しており、 愛知県の防災訓練としては初めて企業と防災機関との 連携で行われた大規模なものでした。

本番さながらの緊迫した中でトリアージは行われ、付き添って下さった看護師は、ビニールシートや体についた砂も払い、体を横にしてくれました。すぐに医師の診察が行われ薬の処方が必要になりましたが、「うちにある薬じゃないときかないんだ!帰って取りに行ってくる!」と騒いだところ、タッチングや冷静且つ親身な対応に落ち着くことができました。私は緑色のタグを腕につけられました。歩行可能だからこそ、周りの状況も目の当たりにするため不安が大きくなりましたが、歩行時も看護師が付き添ってくれたことで不安を軽減することができました。

今回の体験を通して、防災に対する意識を高め被害を最小限にするためには、私達一人一人の普段からの 意識や準備が重要であるという事を改めて学ぶことが できました。

臨地実習

患者さんによって1人1人 異なった看護が必要である

4年 小島 明子

上記のテーマは、この大学に入学してすぐに受講した看護学概論の講義で印象に残っている一言です。3年生の後期から約1年間、臨地実習をさせて頂きました。

精神看護学領域の実習においては、同じグループの 学生全員が統合失調症の患者さんを受け持ちました。 学生同士でお互いの看護計画を比較してみると、同じ 疾患であるのに計画は全く異なることに気付いたので す。学生の会話の中にも「患者さんは歌が好きみた い」、「私の受け持ちの方は外出するととても明るい 表情になる」といった内容が出てきて、1人1人アプロ ーチの方法が異なることを実感しました。

老年看護学領域では、認知症の方を受け持たせて頂きました。その方は以前、市役所で働かれていたと知り、ネクタイをすると、患者さんの昔の記憶が蘇り、

新たに話に花が咲くのではないかと思い、ネクタイを提案しました。初めは私がネクタイを締め、鏡の前に連れていくと、自ら手慣れた手つきで締め直され、「もうして行くところがないけど、昔はよくしていたなぁ」と表情も普段と異なり、キリッとしていたように思います。この領域では、その人の今まで歩んできた人生についても眼を向けていくことが大切なのだと

今回は2つの実習での出来事を取り上げましたが、それぞれの実習で多くのことを学ばせて頂きました。大変なこともありましたが、それ以上に患者さんとの関わりの中で患者さんが笑顔を見せて下さった瞬間は、もっと頑張ろうと思える原動力となりました。卒業後は、臨地実習での学びを生かし、その方に合った看護

を行うことが出来るよう、1人1人と丁寧に関わっていきたいです。 実習での出会い、学びを大切に今後も成長していきたいと思います。

実感しました。



サークル紹介

~TK農場~

2年 山田 悠人

僕たちは2年生を中心に活動を行っています。活動内容はサークル名からも察せられるように、みんなで楽しく農作物を作ろうというものです。このサークルを

立ち上げた理由はまず看護大学なので男子がとても少なく、その男子だけで何か楽しくやれないかという思いでした。それから看護学生として、作物の栽培を通して、自然の恵みに感謝することと、生命の偉大さ、有難さを身をもって感じようという思いからです。僕たちのそんな意志を顧問の河合先生や大学の方々が汲み取ってくださり、畑を始めることができました。これまで知の土を入れ替える作業をし、顧問の先生と共に楽しく活動を行っています。今はまだ、古いる途中ですが、少しずつみんなで協力して、作業を進め、汗をかいて、笑顔で作物

を収穫できるよう頑張っています。作物ができました ら、父と子の日というサークルに提供したり、地域活動にも貢献できたらと考えています。今後も忙しい日 は続きますが、勉学に励みつつも、みんなで楽しくや っていきたいと思っています。



RCT☆LINK

〜漢たちの焼きそば〜 in いとすぎ祭

3年 西野 巧祐

こんにちは。私たちはいとすぎ祭 (大学祭) で焼き そばの模擬店 ("焼きMEN") を出した漢たちです。本 学では男子は少数で、その中の1~3年生の精鋭たちが 集まりひたむきに真心を込めて焼きそばを作りました。

最初は利益がでるのか…ということから始まり、みんなの意見を募り、紆余曲折の結果、焼きそばの模擬

店に決定しました。しかし、業務用スーパーで350人前の焼きそば麺を購入した直後から、 ただただ完売するのか不安でいっぱいでした。

いとすぎ祭当日、早朝から野菜・肉が凍ったり、麺に焼きそばソースだけでは味がつかなかったり、食材や調理器具が足りないなど、ハプニング続きでしたが、そんなことにも私たちはめげず、全員の力を合わせて何とか300人前以上を売り上げることができました。

今回、この模擬店を通して、メンバーの新たな一面を発見できたり、先輩後輩の交流の場になったり、私の中ではとても良い思い出

になったと思います。何よりも皆で楽しんで焼きそば づくりが出来たのがとてもよかったです。

メンバーの頑張りが私の中で何よりの支えであり、 だからこそ頑張れました。「あぁ、これって青春だっ たのだなぁー」としみじみ感じることができました。 この思いを学生生活に活かしていきたいです。

NEXT RCT☆LINK

⇒ 2年生 望月美紗貴さんです



後援会

平成24年度後援会 会長挨拶

後援会 会長 鈴木 秀樹

今年度の後援会会長を務め させていただくことになりま した鈴木です。どうぞよろし くお願いいたします。

平素は後援会活動にご理解 ご協力いただきまして誠にあ りがとうございます。さて、



昨年の大震災における日本赤十字社の直接、間接にわたる支援活動につきましては、日本赤十字豊田看護大学に子供を学ばせている親として大変誇りに思った次第です。「あれから一年」のテーマの下に取り組んだ今年度の「いとすぎ祭」でも、日赤に学ぶ学生としての自覚と使命感を感じることができました。例年同様に後援会といたしまして、総会や役員会でのご承認をいただきながら「いとすぎ祭」に対する運営資金援助を行いました。また、1年後の10周年記念行事への援助の積み立ても行っています。

これまで看護師に求められてきた職業としての高い 専門性に加えて、近年では医療における国際的な支援 体制の必要性や、日本で学ぶ外国人の増加などで看護 師の位置づけも大きく変化しています。幅広い教養をもち人間としても尊敬できる人材、さらに国際的な感覚を持った広い視野が、看護師にも求められてきています。わずかな期間でこういった要望をすべて身につけていくことは、非常に厳しいものがあると思いますが、不断の研鑽を続けていけば、少しずつでも理想に近づくことができると思います。

後援会でも学生の成長、そして大学の発展に貢献で きるように努力していきますので、ご理解とご協力を お願い致します。



平成24年度 後援会役員一同

大学院看護学研究科紹介

母性看護専門看護師

母性看護学 教授 野口 眞弓

本学の母性看護専門看護師の教育は平成22年度の大学院開設と同時に始まりました。平成22年度には愛知県下の病院に勤務する助産師1名、平成23年には3名が、いずれも3年間の長期履修制度を利用して入学しました。

専門看護師は、特定の看護分野の知識及び技術を深め、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及びその他の集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供します。専門看護師になるには大学院修士課程で所定の単位を修得するとともに実務経験に関する要件を満たし、日本看護協会の認定を受ける必要があります。認定は平成8年に始まり、これまでにがん看護、精神看護、地域看護、老年看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護の11分野795名が認定されています。このうち、母性看護専門看護師は38名だけで、愛知、岐阜、静岡の3県にはまだいません。

日本看護系大学協会の認定を受けた専門看護師の教育課程は、平成24年現在76大学院195課程で、このう

ち母性看護専門看護師教育については10課程のみです。 本学の母性看護専門看護師教育も、今年度に認定申請 を行いました。

平成22年に入学した木全美智代さん(写真)は、在 学3年目となり、修士論文のためのデータ収集を始めて います。



Academic Library

看護記録

図書館司書 中尾 明子

3.11後、本学図書館では震災・福島原発に関連する記録を収集している。今年のいとすぎ祭では、ユーチューブに公開されている日本赤十字社の救援映像を流しつつ、87点の収集物を、表紙を見せる形で展示を行った。(写真参照)

その中の一点「朽ちていった命ー被爆治療83日間の 記録ー」は茨城県東海村の核燃料施設JCOで起きた臨界 事故により大量被爆した大内久さんの治療記録である。



いとすぎ祭での展示の様子

「朽ちていった」というおぞましい表現は、 再生を止めてしまった身体状態を表している。 染色体がばらばらに砕けた顕微鏡写真、繊維が失われ細胞膜しかりまたらない筋。カルテという治療記録は残酷に現実を語る。



NHK「東海村臨界事故」取材班. 朽ちていった命:被爆治療83日間の記録. 新潮社 2006

しかしながら、被爆して3日後に転院した東大病院の 看護記録には、こう記される

『呼吸や体温、それに本人の生活状況や家族構成などを記したあとに、今後の看護プランを立てた。本人と家族のメンタルケアを重視し、苦痛を取り除く看護をすることなどを目標として設定した。

そして最終的な目標の欄に、しっかりとした筆跡で「ICUを退出できる」と書き込んだ。』(太字原文のまま引用:p39)

看護記録は一人の人間「大内久」を語っていて、この書物に救いを与えているのである。看護記録は人の 記録という思いを新たにさせる。

研究の窓

形から入る医学…「形態屋」の話

専門基礎 教授 黒川 景

私の担当する講義のうち主要な分野として、1年生の「形態機能学」があります。人体における形態と機能との密接な関連を重視し、解剖学、組織学といった形態を扱う学問と、生理学、生化学といった機能を扱う学問を統合して講義する形となっています。私の専門は病理学ですが、病理学は病変の肉眼所見とともに、顕微鏡をツールとして病気の形をとらえ病態を考える学問及び診療領域で、解剖学、組織学における「正常」の知識の上に成り立ちます。病気を知るためには、正常をよく理解していることが大切で、そのことを形態機能学の講義でも重視しています。

病理学は基礎医学の中の1つの研究分野であるとともに、病理診断を通して臨床各科とのつながりのある、いわば基礎医学と臨床医学の架け橋の役割を果たします。医学の世界では解剖学とともに「形態屋」と呼ばれる人種に属します。何年か前、マンション建築の手抜き事件があった際、建築の世界に「構造屋」と呼ばれる専門分野の方がいると聞き、妙に納得しました。地味だが大事な仕事であること、この分野の人が不正を行うと大変なことになることを知ったわけです。

「形態屋」の一種である病理医は、日本全国で数千人 レベルと数が少なく、直接患者さんを見ない「じみ」 であまり「なじみのない」医者だと思いますが、診断 の質にこだわりを持つ「まじめ」な先生が多いです。 私のように教育に携わる者もいますが、多くは大学病院を含む総合病院の検査室で、各科より日常診療で提出される生検材料、手術材料、また亡くなられた患者さんの病理解剖に取り組み、顕微鏡と向き合いながら、患者さんの病気のことを考えています。全身のあらゆる臓器の診断に取り組んでいるので、病気を広くゆして捉えることを得意として捉えることを得意としてます。尚、酒飲みも多く、仲間の病理医の中には、「形態学(視覚)に基づく診断は、ワインのテースティング(嗅覚)と同様に「官能検査」の一種である」とおっしゃられる先生もおられ、眼にいいといっては、毎晩赤ワインで晩酌しています。(私はお酒の方はほどほ

「研究の窓」ということで、最後に病理の基礎研究についても触れます。最近は遺伝子をはじめとする分子生物学の台頭で、医学の他の分野や生物学を含めた学問領域との垣根が低くなり(すなわち様々な分野が

分子生物学という共通の研究手法を持つに至った)、形態屋も形態ばかり扱っていられる時代ではなくなりましたが、病態や形態と遺伝子との関係といったあたりは、やはりホットな領域の1つです。また機会があったら、講義の中でもお話しできたらと思います。



Information

日本赤十字豊田看護大学 平成25年度入学試験日程

試験の種別	出願期間	試 験 日	合格発表
日本赤十字社中部各県支部長 推薦入学試験	平成24年10月22日(月) ~11月2日(金) 必着		
高等学校長推薦入学試験(公募制)	平成24年10月22日(月)	平成24年11月17日(土)	平成24年11月26日(月)
社会人特別選抜入学試験	~11月7日(水)必着		
一般入学試験	平成24年12月14日(金) ~平成25年1月25日(金)必着	平成25年2月2日(土)	平成25年2月12日(火)
大学入試センター試験利用入試	平成25年1月4日(金) ~平成25年1月18日(金)必着	個別試験は課しません。	

※詳細は募集要項またはホームページをご覧ください。

後期公開講座のご案内 (2月~3月開催)

講座名	日時・担当領域	内 容	人数
ストレスと上手く付き合おう! ~リラクゼーションを体験しよう~	平成25年2月16日(土) 10:00~12:00 精神看護学	ストレスについて理解し、リラクゼーションの方法と、その効果を体験することで、日々のストレス解消に役立てることができます。	30名
健やかな老後を送るためのヒント 〜飲み込む力を維持しよう〜	平成25年2月16日(土) 13:00~14:30 老年看護学	高齢になると、食べ物を飲み込む力が衰えがちです。飲み込みの運動の成り立ちと訓練方法を理解して、安全に口から食べられるようにしましょう。	20名
楽しくすごそう更年期!!	平成25年2月23日(土) 10:00~12:00 母性看護学	更年期には発汗、イライラなどの症状が出て、憂うつな 気分になります。更年期の成り立ち、対処方法を理解し て、楽しく更年期をすごしましょう。	20名
子どもの発達と遊び	平成25年3月12日(火) 10:00~11:30 小児看護学	1. 乳幼児の成長発達 2. 子どもの発育にあわせた遊び 3. 親子における遊び	20名
生活習慣を見直そう!	平成25年3月16日(土) 10:00~12:00 成人看護学	健康のために、食習慣を見直してみませんか? 生活習慣病と食生活との関係、健康のための食事の工 夫などの講義の後、食習慣について参加者全員で考え ていきます。	40名

平成23年度 消費収支計算書

平成23年4月1	日 ~ 平成	24年3月	31日
----------	--------	-------	-----

消費収入の部			(単位:円)
科目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金	929,250,000	915,165,000	14,085,000
手数料	19,840,000	23,328,000	△ 3,488,000
寄付金	0	5,594,741	△ 5,594,741
補助金	126,875,000	103,667,840	23,207,160
国庫補助金	126,827,000	103,625,000	23,202,000
地方公共団体補助金	48,000	42,840	5,160
資産運用収入	14,693,000	16,080,542	△ 1,387,542
事業収入	6,650,000	7,136,400	△ 486,400
雑収入	5,713,000	4,547,364	1,165,636
内部取引	4,311,000	107,483,261	△ 103,172,261
帰属収入 合計	1,107,332,000	1,183,003,148	△ 75,671,148
基本金 組入額	△ 144,727,000	△ 118,728,106	△ 25,998,894
消費収入の部合計	962,605,000	1,064,275,042	△ 101,670,042

消費支出の部			(単位:円)
科目	予算額	決算額	差 異
人件費	618,132,000	588,684,423	29,447,577
教育研究経費	423,807,000	401,904,695	21,902,305
管理経費	48,292,000	39,480,159	8,811,841
資産処分差額	0	1,173,234	△ 1,173,234
内部取引	16,821,000	118,158,136	△ 101,337,136
予備費	0	0	0
消費支出の部	1,107,052,000	1,149,400,647	△ 42,348,647
当年度消費支出超過額	△ 144,447,000	△ 85,125,605	
前年度繰越消費収入超過額	431,884,000	897,015,831	
翌年度繰越消費収入超過額	287,437,000	811,890,226	

平成23年度の財務状況は、大規模災害被災学生奨学金(給付制)の創設に伴う第3号基本金への組入れ、情報処理教室情報機器更新等を行ったことにより、85,126千円の支出超過となりました。

編集

残暑が厳しかった夏も終わり、ようやく秋めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋、 読書の秋、実りの秋など色々あります。

今回、学生生活の園芸サークルよりTK農場の報告がありましたが、収穫が楽しみですね。

皆様のご協力にて、『いとすぎの丘』vol.16が無事に発行できましたこと、心より感謝申し上げます。

今後も、本学の学生および教職員の活動状況を、より解りやすく皆様にお届けできるよう、編集委員一同、心をこめて作成してまいりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

いとすぎの丘 Vol.16

発行日/2012年10月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学 広報・公開講座委員会、企画・地域交流課

THAT!

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33 TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256 E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp HP http://www.rctoyota.ac.jp/